

# 令和6年度 中西小学校 研究計画

## 1. 研究主題

「言葉の見方・考え方をはたらかせて読み、対話を通して考えを深める児童の育成」

～ 児童が確かな読みを実感し、考える楽しさを味わう国語科(説明文)の授業づくり ～ 【1年次】

## 2 主題設定の理由

本校は「生きる力を身に付け、みんなと共に、生き抜く子どもの育成～大地に強い根を張る中西っ子の育成～」を学校教育目標に掲げ、教育活動に取り組んでいる。職員一同、子どもたちが自分や人を大切にし、自分の考えを表現したり、目標に向かってチャレンジしたりすることで、変化の大きい現代社会を生き抜く力が育ってほしいと願っている。

本校では、昨年度まで2年間、研究主題を「主体的に表現する児童の育成～ 聴き合い・伝え合い・響き合いのある話し合い活動の実践 ～」として、学級活動(1)の授業づくりを中心に研究実践を進めてきた。相手の思いや考えをよく聴き、自分の考えを進んで伝え、意見の違いや多様性を認め合いながら、折り合いをつけて合意形成を図る話し合い活動を実践してきた。そのことにより、自分の思いや考えが相手に伝わった実感や、集団で学級や学校の課題を解決できたという経験を積むことができ、主体的に表現しようとする意欲が向上した児童が増え、成果を感じているところである。

本校の児童は、明るく素直で、学習や決められたことに真面目に取り組むことができる。また、友だちとのかわりを好み、異学年児童同士の仲もよい。学級活動を基盤に、表現活動のベースとして様々な対話的活動を取り入れてきたことで、主体的に伝え合う姿も定着してきている。一方で、昨年度末に実施した教職員によるアンケートでは、伝え合って終わりにすることが多く、そこから質問したり、新たな気づきを得たりして深めるところまでいきにくい、決まった言い方や単語の羅列になり、論理的に表現することが苦手といった課題が挙げられた。その大きな原因として、そもそもしっかり理解するところまで落とし込めていない点や、言葉についての基礎的な力が身につけていない点が考えられる。

そこで、令和5年度2月に、国語科を中心とした言葉に関する児童アンケートを実施した。すると、「国語の勉強は好きですか。」という質問に、肯定的な回答をした児童は55%と、全体の約半数という結果だった。記述による回答からは「難しい」「苦手」と答えている児童が多く、理解の難しさから苦手意識が強くなっていることがうかがえた。学級活動においては、話し合いの良さを実感し主体的に伝え合っている児童が、国語科においてはこれまで培ってきた話し合いの力を生かしきれない現状が分かった。

これらの課題を解決していくためには、児童が「分かった」と感じられるような授業づくりが不可欠である。そして、国語科における見方・考え方を身につけた上で自分の考えを持ち伝え合うことで、主体的に対話しながら国語科のねらいにせまることができるのではないかと考える。

そこで、今年度は研究主題を『言葉の見方・考え方をはたらかせて読み、対話を通して考えを深める児童の育成』として、児童が確かな読みを実感し、考える楽しさを味わう説明文の授業づくりを中心に、研究実践を進めることとする。

### 「言葉の見方・考え方をはたらかせて読む」について

児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることである。 —小学校学習指導要領解説 国語編より—

### 「考えの形成」について

文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な体験と結びつけて感想を持ったり考えをまとめたりしていくことである。 —小学校学習指導要領解説 国語編より—

## 【研究主題のとらえ】 ～国語科説明文において～

### 「言葉の見方・考え方をはたらかせて読む」とは

- ◆児童が文章の仕組みや構造を理解するための、読み取り方を習得することができる。
- ◆児童が目的に向かい課題を解決するために、自ら判断し選択した言葉に着目して読むことができる。
- ◆言葉と言葉を結びつけて、新たな意味や気づきを見出すことができる。

児童が確かな読みを実感する。

### 「対話を通して考えを深める」とは

- ◆児童が目的意識や課題意識を持って、その解決のために主体的に考えることができる。
- ◆文章を読んで形成した自分の考えを表現し、互いの表現を認め合ったり、比較して違いに気づいたりすることを通して、自分の考えをさらに広げることができる。

考える楽しさを味わう。

## 3 研究目標(到達目標)

国語科において、言葉の見方・考え方を養い、確かな読みの力を実感させる授業の在り方を工夫することを通して、主体的に対話をしながら自分の考えを深める児童を育てる。

## 4 研究仮説

【仮説①】 文章を視覚化し、読みの視点を明確に焦点化することで、言葉の見方・考え方を働かせて読むことができ、児童が「分かった」ことを実感できるだろう。

【仮説②】 文章を読んで理解したことを基に考えの交流をすることで、互いの表現を認め合ったり、比較して違いに気づいたりすることができ、さらに自分の考えを深めることができるだろう。

## 5 研究内容

### (1) 国語科(説明文)の授業づくり

①**視覚化** 文章の構造・構成を整理して理解させるための手立て

- ・段落の構成の図式化、構造的な板書を工夫する。
- ・ホワイトボード、ワークシート、ICT を効果的に活用する。

②**焦点化** 学習の目的やポイントを明確にして、「つけたい力」を身につけるための方法

- ・目的(ねらいやゴール)をはっきりさせ、見通しを持たせる。
- ・発問や学習活動が「つけたい力」と結びつくように、ポイントを明確にする。
- ・系統立てて身についた「言葉の力」を提示する。

③**考えの形成** 読んで理解したことを基に意見の共有を通してさらに考えを深めるための工夫

- ・根拠を明確にして自分の考えをたせる活動を確保する。(書く活動)
- ・ペア、グループ、全体などを効果的に活用し、考えを共有する。
- ・共有したことを基に類似点・相違点などを比較し、新たな気づきや感想をまとめる活動を取り入れる。

### (2) 言葉の基礎的な力をつけるための活動

#### ①音読の継続

- ・全校統一して、毎時間国語の授業を音読タイムで始める。「話す聞くスキル」の活用。
- ・家庭学習で音読の課題を共通して位置づける。

#### ②読書活動の充実

- ・朝活動の読書タイムの実施。(毎週火曜・金曜)
- ・おすすめ図書の紹介。
- ・メディアセンターの活用。

#### ③「ますますタイム」の取組

- ・毎週月曜日の朝活動に実施。

#### ④漢字検定の実施

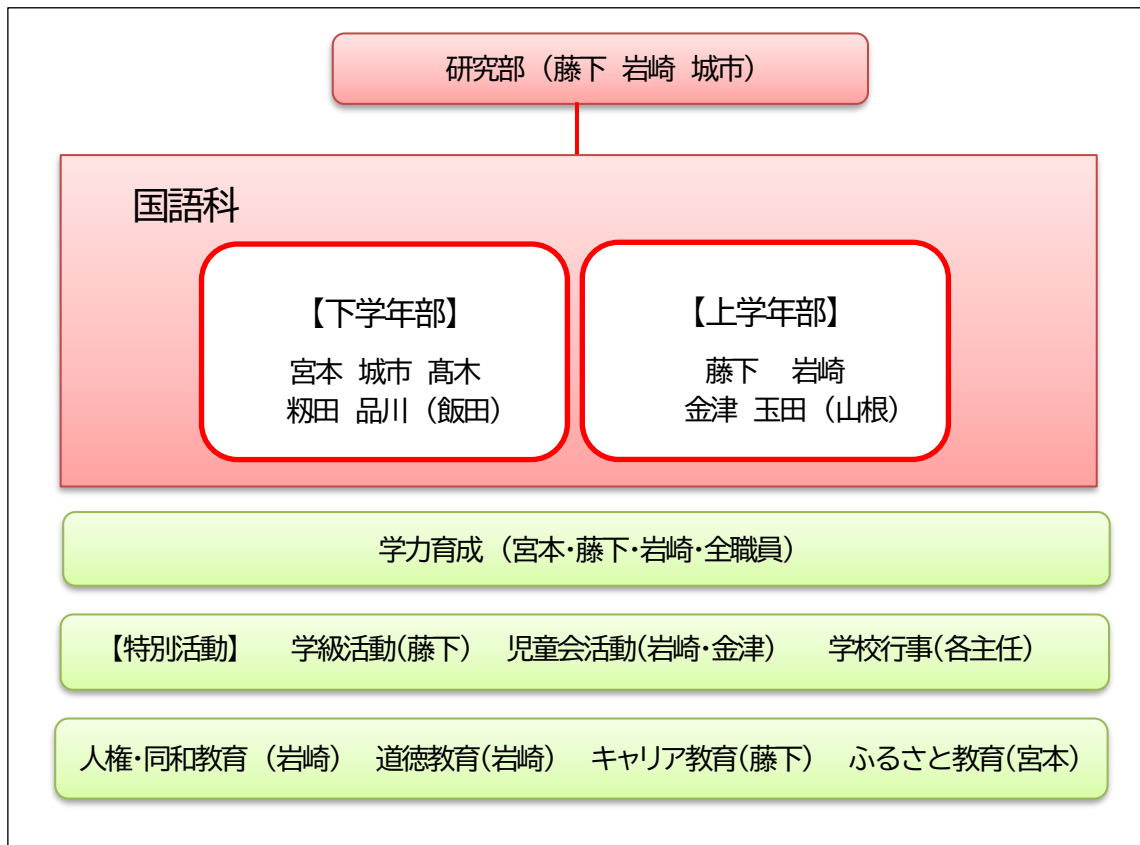
視覚化

焦点化

考えの形成

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
構造と内容の把握	説明的な文章 ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
	文学的な文章 イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
精査・解釈	説明的な文章 ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
	文学的な文章 エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
考えの形成	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

## 6 研究組織



## 7 研究成果の検証方法

- 1人1授業の実施、及び研究協議を中心に考察を行う。
- 児童アンケートを行い、変容や実態を確認し、振り返りと課題の把握を行う。
- 学校評価、全国学力調査・県学力調査の結果から、変容や実態を確認し、課題の把握を行う。

8 年間計画予定表(現在調整中)

期	月	研修内容		備考
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主題、研究計画の作成、検討</li> <li>研修講座受講者申請 ・訪問指導申請</li> <li>研究職員会 →校内研究の進め方についての共通理解</li> </ul>	↑一人一授業(国語科を基本とする)↓	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートの実施(1回目)</li> <li>研究職員会 →国語科の授業作りについて校内研修</li> <li>【4年生】一人一授業 指導案検討・授業公開・研究協議</li> </ul>		
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>【5年生】指導案検討</li> </ul>		
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>【5年生】授業公開・研究協議【訪問指導】7/12(金)⑤</li> <li>【2年生】一人一授業 指導案検討・授業公開・研究協議</li> </ul>		
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究職員会 →前期の取組の振り返りと後期の取組みについて</li> <li>→国語科についての出前講座or 校内研修</li> <li>学力向上に関する取組の振り返り ・学力調査分析</li> <li>各研修報告会</li> </ul>		
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>【6年生】指導案検討</li> <li>【6年生】授業公開・研究協議【訪問指導】</li> <li>【3年生】指導案検討</li> <li>【3年生】授業公開・研究協議【市教委訪問指導】9/30(月)⑤</li> <li>→端末を利用した「気づきと対話」のある授業</li> </ul>		
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートの実施(2回目)</li> <li>【2年生】指導案検討</li> <li>【2年生】授業公開・研究協議【訪問指導】10/8(火)</li> </ul>		
	11			
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>【1年生】一人一授業 指導案検討・授業公開・研究協議</li> </ul>		
	1			
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートの実施(3回目)</li> <li>職員アンケートの実施</li> <li>研究のまとめ ・県学力調査分析</li> </ul>		
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度の計画</li> <li>研究職員会 →来年度の校内研究の方向性の検討</li> <li>年間計画見直し</li> </ul>		